

シラバス基本情報

0	ナンバリングコード	MEIP-GEN101
1	科目名 英語科目名	国語基礎 I Japanese I
2	必修/選択 単位 開講時期 担当者	(選択2単位) 1年前期 中川明日佳*
3	授業テーマ・内容	漢字、語彙力、文法など、文章表現に必要な国語力をつけるために基礎から復習する。 また、文章作成におけるコミュニケーション能力の向上を目指し、「国語基礎II」に応用できるようにする。 毎回演習問題を課すので、積極的な受講態度が要求される。
4	学習成果	常用漢字を正しく読み書きできるようになる。 接続詞について理解し、正しく使えるようになる。 正しい係り受けの文が書ける。 整合性がとれた文章が書けるようになる。

ルーブリック

学習成果	評価尺度4	評価尺度3	評価尺度2	評価尺度1	評価尺度0
	期待している以上	十分に満足できる	満足できる	ほぼ満足できる	努力を要する
常用漢字を正しく読み書きできるようになる。	*	辞書を熟読し、漢字についての理解を自ら深めていく。	常用漢字を正しく読み書きできるようになる。	常用漢字について、調べれば正しく読み書きできる。	常用漢字を正しく読み書きできない。
接続詞について理解し、正しく使えるようになる。	*	接続詞について理解し、場面に応じて適切な接続詞を自在に使えるようになる。	接続詞を正しく使える。	例を参考にすれば接続詞を正しく使える。	接続詞を正しく使うことができない。
正しい係り受けの文が書ける。	*	長い文章の中でも破綻せず、正しい係り受けの文が書ける。	正しい係り受けの文が書ける。	例を参考にすれば正しい係り受けの文が書ける。	正しい係り受けの文が書けない。
整合性がとれた文章が書けるようになる。	*	十分に推敲され、全体的に整合性がとれた文章が書ける。	整合性がとれた文章が書ける。	例を参考にすれば整合性がとれた文章が書ける。	整合性がとれた文章が書けない。

シラバス基本情報

0	ナンバリングコード	MEIP-GEN201
1	科目名 英語科目名	国語基礎Ⅱ Japanese II
2	必修/選択 単位 開講時期 担当者	(選択2単位) 1年後期 中川明日佳*
3	授業テーマ・内容	前期の「国語基礎Ⅰ」に続き、さらに日本語表現の基礎力をつける。前期の内容をもとにして、後期は就職活動に直結する敬語や手紙文を中心に学ぶ。また、図書館での演習を通じてグループワークのトレーニングを行う。 毎回実際に、書いたり、話したりする演習を課すので、積極的な受講態度が要求される。
4	学習成果	漢字の多義的な構造や言葉の広がりについて理解し、説明することができる。 敬語の概念について理解し、正しく使えるようになる。 手紙の概念について理解し、正しい形式で書けるようになる。

ルーブリック

学習成果	評価尺度4	評価尺度3	評価尺度2	評価尺度1	評価尺度0
	期待している以上	十分に満足できる	満足できる	ほぼ満足できる	努力を要する
漢字の多義的な構造や言葉の広がりについて理解し、説明することができる。	*	漢字の多義的な構造や言葉の広がりについて理解し、説明することができる。	漢字の多義的な構造や言葉の広がりについて理解できる。	漢字の多義的な構造や言葉の広がりについて辞書を使って調べることができる。	漢字の多義的な構造や言葉の広がりについて説明することができない。
敬語の概念について理解し、正しく使えるようになる。	*	敬語の概念について理解し、場面に応じて適切な敬語が使える。	敬語を正しく使える。	例を参考にすれば敬語を正しく使える。	敬語を正しく使えない。
手紙の概念について理解し、正しい形式で書けるようになる。	*	手紙の概念について理解し、正しい形式で書ける。	正しい形式の手紙が書ける。	例を参考にすれば正しい形式の手紙が書ける。	正しい形式の手紙が書けない。

シラバス基本情報

0	ナンバリングコード	MEIP-GEN102
1	科目名 英語科目名	日本語表現法 Japanese Composition and Style
2	必修/選択 単位 開講時期 担当者	(選択2単位) 1年前期 齋藤安輝*
3	授業テーマ・内容	「国語」ではなく世界の言語のひとつとしての「日本語」の視点を養うために、他言語と比較しての日本語の特徴を、構造・語順・文法や語彙などの面から考える。 その上で主語と述語、修飾語や接続、文体など、正確な文を構成する上で不可欠な基礎文法を学ぶ。 また、社会生活に必要な現代敬語を、口語表現中心に修得し、文章表現に応用する。
4	学習成果	1.グローバルな視野に立って他言語と比較することで、言語学的視野に立って普段使っている日本語を認識できる。 2.日常の言語生活において論理的に観察・分析し、学んだことを応用できる。 3.言語について考察したことを口頭、又は文章で説明できる。 4.基礎的な敬語法を理解し、正しく話したり書いたりできる。

ルーブリック

学習成果	評価尺度4	評価尺度3	評価尺度2	評価尺度1	評価尺度0
	期待している以上	十分に満足できる	満足できる	ほぼ満足できる	努力を要する
日本語についての知識	自分から広く知識を集めることができ、分かりやすく他者に説明できる。	広い関心・知識を持つ。そのうえ知識を他者に説明できる。	基本的な知識を持ち、それを他者に説明できる。	大体の基本的な知識を持ち、それを他者にある程度説明できる。	到達目標を達成できていない。
日本語の観察および考察	広く日本語を観察し、様々な事象を集めて自ら考察を深めることができる。	身近な日本語を観察し、知識を基に考察できる。	授業中の例を観察し、考察できる。	授業中の例を観察し、助言を受ければ考察することができる。	到達目標を達成できていない。
考察の説明および文章化	独自の考察を説明できる。そのうえで正確かつ論理的な文章にまとめることができる。	考察したことを説明することができる。そのうえで正確な文章にまとめられる。	考察したことを説明できる。そのうえで文章にまとめられる。	考察したことを大体説明できる。それを大体文章化できる。	到達目標を達成できていない。
敬語法の習得及び実践	習得した語法を自分なりに応用して、様々な場面で言葉を使い分けることができる。また文章化できる。	習得した語法を応用して正確に話すことができる。また正確に文章化できる。	習得した語法を使って話すことができる。単純な文章は書ける。	習得した語法を大体使って話せる。最低限の文章は書ける。	到達目標を達成できていない。

シラバス基本情報

0	ナンバリングコード	MEIP-GEN202
1	科目名 英語科目名	日本語表現法演習 Exercises of Japanese Letters and Documents
2	必修/選択 単位 開講時期 担当者	(選択2単位) 1年後期 齋藤安輝*
3	授業テーマ・内容	文章表現のための漢字、熟語、慣用表現など、語彙・文法力を中心とした基礎的な知識とテクニックを身につける。また、前期の「日本語表現法」で学んだことを基にして、実際に文章を作成する。 縦書きの手紙文、横書きのビジネスレターなど、毎回様々な文章作成や演習問題を課すので、各自積極的な受講態度が要求される。
4	学習成果	1.日本語に於ける漢字の成り立ちや読み、熟語の構造を習得し、正確に記述できる。 2.手紙文の構造や慣用的な表現、定型文、便箋・封筒の使い方などを習得し、そのうえで実際に正しく手紙が書ける。 3.ビジネス文書を正式な形式に従って、慣用表現や定型文また、敬語法を用いて正しく作成できる。

ルーブリック

学習成果	評価尺度4	評価尺度3	評価尺度2	評価尺度1	評価尺度0
	期待している以上	十分に満足できる	満足できる	ほぼ満足できる	努力を要する
漢字や語彙の知識の習得	自分から広く知識を集めることができ、分かりやすく他者に説明できる。	広い関心・知識を持つ。そのうえ知識を他者に説明できる。	基本的な知識を持ち、それを他者に説明できる。	大体の基本的な知識を持ち、それを他者にある程度説明できる。	到達目標を達成できていない。
文字や語彙の考察と応用	独自の考察を説明できる。そのうえで正確かつ論理的な文章にまとめることができる。	考察したことを説明することができる。そのうえで正確な文章にまとめられる。	考察したことを説明できる。そのうえで文章にまとめられる。	考察したことを大体説明できる。それを大体文章化できる。	到達目標を達成できていない。
手紙文の作成	手紙文の書式に従って慣用的表現、定型文を応用して、自由に文章が作成できる。また他者にわかりやすく説明できる。	手紙文の書式に従って慣用的表現、定型文を用いて、正しい文章が作成できる。また他者に正確に説明できる。	手紙文の書式に従って慣用的表現、定型文を用いて、文章が作成できる。また他者に説明できる。	手紙文の書式に従って慣用的表現、定型文を用いて、大体文章が作成できる。また他者に大体説明できる。	到達目標を達成できていない。
ビジネス文書の作成	ビジネス文書の書式に従って慣用的表現、定型文を応用して、自由に文章が作成できる。また他者にわかりやすく説明できる。	ビジネス文書の書式に従って慣用的表現、定型文を用いて、正しい文章が作成できる。また他者に正確に説明できる。	ビジネス文書の書式に従って慣用的表現、定型文を用いて、文章が作成できる。また他者に説明できる。	ビジネス文書の書式に従って慣用的表現、定型文を用いて、大体文章が作成できる。また他者に大体説明できる。	到達目標を達成できていない。

シラバス基本情報

0	ナンバリングコード	MEIP-GEN 103
1	科目名 英語科目名	英語表現法 English Usage
2	必修/選択 単位 開講時期 担当者	(選択2単位) 1年前期 田村正一*
3	授業テーマ・内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実用的、基本的な英語を学習し、世界の職場で通用する人材の育成を目指す。 ・ 基本単語や英文法の基本的事項を理解し、英語活用能力を伸ばす。 ・ ニュース英語、英字新聞、英語の略語、ことわざなど、身近に使われている英語に慣れることによって、英語に対する苦手意識を克服する。 ・ 各授業に演習(小テスト等)を取り入れ、英文、熟語・構文、単語の定着を図る。
4	学習成果	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「英語表現」に必要な文法事項の基礎を理解し、構文・熟語を使用することができる。 2. 意味の似た動詞(lookとsee)について、意味の違いを理解し、日本語に訳すことができる。 3. 基本動詞を用いて、自分の考えを英語で表現することができる。 4. TOEIC L&R に出てくる単語や熟語を覚え、確認することができる。 5. 社会で起こっている事象やニュースに関心を持ち、英語で読むことができる。

ルーブリック

学習成果	評価尺度4	評価尺度3	評価尺度2	評価尺度1	評価尺度0
	期待している以上	十分に満足できる	満足できる	ほぼ満足できる	努力を要する
1. 文法事項の基礎を理解し、構文・熟語を使用することができる。	重要事項を理解し、全ての問題に正解できる。	重要事項を理解し、9割以上の問題に正解できる。	重要事項を理解し、7割以上の問題に正解できる。	重要事項を理解し、5割以上の問題に正解できる。	重要事項が理解できず、半分の問題に正解できない。
2. 意味の似た動詞について、意味の違いを理解し、日本語に訳すことができる。	重要事項を理解し、誤字脱字もなく日本語らしく訳すことができる。	重要事項を理解し、正しく日本語に訳すことができる。	主語と重要事項を日本語らしく訳すことができる。	重要事項の部分は日本語に訳すことができる。	断片的な日本語訳も書くことができない。
3. 基本動詞を用いて、自分の考えを英語で表現することができる。	文法上の誤りもなく、様々な英語で表現することができる。	主語・動詞・目的語・補語を意識し、修飾語や副詞句などを用いて英語で表現することができる。	主語・動詞及び目的語や補語を意識して英文を書くことができる。	主語と動詞だけでも英語で書くことができる。	断片的に英単語も書くことができない。
4. TOEIC L&R に出てくる単語や熟語を覚え、確認することができる。	全ての単語や熟語を英語も日本語も書くことができる。	範囲内の全ての単語の意味を1つは書くことができる。	範囲内の7割以上の単語の意味を1つは書くことができる。	範囲内の5割以上の単語の意味を1つは書くことができる。	範囲内の半分の単語の意味を1つも書くことができない。
5. 社会で起こっている事象やニュースに関心を持ち、英語で読むことができる。	Course Power に掲載されている時事ニュースの内容や構文を考えながら英語に目を通し、銀のフレーズで単語の意味も確認している。	Course Power に掲載されている時事ニュースの英語に目を通し、内容を理解し、日本語のニュースで確認している。	Course Power に掲載されている時事ニュースの英語にも日本語にもざっと目を通している。	Course Power に掲載されている時事ニュースの英語の一部と日本語に目を通している。	Course Power に掲載されている時事ニュースの英語にも日本語にも目を通していない。

シラバス基本情報

0	ナンバリングコード	MEIP-GEN 203
1	科目名 英語科目名	英語表現法演習 Exercises in English Usage
2	必修/選択 単位 開講時期 担当者	(選択 2 単位) 1年後期 田村正一*
3	授業テーマ・内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実用的、基本的な英語を学習し、世界の職場で通用する人材の育成を目指す。 ・ 基本単語や英文法の基本的事項を理解し、英語活用能力を伸ばす。 ・ ニュース英語、英字新聞、英語の比喩表現やビジネス連語など、身近に使われている英語に慣れることによって、英語に対する苦手意識を克服する。 ・ 各授業に演習(小テスト等)を取り入れ、英文、熟語・構文、単語の定着を図る。
4	学習成果	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「英語表現」に必要な文法事項の基礎知識を理解し、構文・熟語を使用することができる。 2. 意味の似た動詞(carryとbringなど)について、意味の違いを理解し、日本語に訳すことができる。 3. 基本動詞や前置詞、形容詞を用いて、自分の考えを英語で表現することができる。 4. TOEIC L&R に出てくる単語や熟語を覚え、確認することができる。 5. 社会で起こっている事象やニュースに関心を持ち、英語で読むことができる。

ルーブリック

学習成果	評価尺度 4	評価尺度 3	評価尺度 2	評価尺度 1	評価尺度 0
	期待している以上	十分に満足できる	満足できる	ほぼ満足できる	努力を要する
1. 文法事項の基礎知識を理解し、構文・熟語を使用することができる。	重要事項を理解し、全ての問題に正解できる。	重要事項を理解し、9割以上の問題に正解できる。	重要事項を理解し、7割以上の問題に正解できる。	重要事項を理解し、5割以上の問題に正解できる。	重要事項を理解できず、半分の問題に正解できない。
2. よく似た動詞、前置詞、形容詞について意味の違いを理解し、日本語に訳すことができる。	重要事項を理解し、誤字脱字もなく日本語らしく訳すことができる。	重要事項を理解し、正しく日本語に訳すことができる。	主語と重要事項を日本語らしく訳すことができる。	重要事項の部分は日本語に訳すことができる。	断片的な日本語訳も書くことができない。
3. 動詞や前置詞、形容詞を用いて、自分の考えを英語で表現することができる。	文法上の誤りもなく、様々な英語で表現することができる。	主語・動詞・目的語・補語を意識し、修飾語や副詞句などを用いて英語で表現することができる。	主語・動詞及び目的語や補語を意識して英文を書くことができる。	主語と動詞だけでも英語で書くことができる。	断片的に英単語も書くことができない。
TOEIC L&R に出てくる単語や熟語を覚え、確認することができる。	全ての単語や熟語を英語も日本語も書くことができる。	範囲内の全ての単語の意味を1つは書くことができる。	範囲内の7割以上の単語の意味を1つは書くことができる。	範囲内の5割以上の単語の意味を1つは書くことができる。	範囲内の半分の単語の意味を1つも書くことができない。
5. 社会で起こっている事象やニュースに関心を持ち、英語で読むことができる。	Course Power に掲載されている時事ニュースの内容や構文を考えながら英語に目を通し、銀のフレーズで単語の意味も確認している。	Course Power に掲載されている時事ニュースの英語に目を通し、内容を理解し、日本語のニュースで確認している。	Course Power に掲載されている時事ニュースの英語にも日本語にもざっと目を通している。	Course Power に掲載されている時事ニュースの英語の一部と日本語に目を通している。	Course Power に掲載されている時事ニュースの英語にも日本語にも目を通していない。

シラバス基本情報

0	ナンバリングコード	MEIPGEN 204
1	科目名 英語科目名	英語特別演習 Advanced English
2	必修/選択 単位 開講時期 担当者	(選択2単位) 1年後期 田村正一*
3	授業テーマ・内容	<ul style="list-style-type: none"> TOEIC L&R 及び4年制大学編入学試験対策を主たる目的とする。 TOEIC L&R の演習を取り入れ、Listening 力と Reading 力の強化を図る。 4年制大学の編入学試験の過去問に挑戦する。 科学系の小論文でよく使われる英語構文や語彙を学習し、科学技術の英語に対する理解を深める。
4	学習成果	<ol style="list-style-type: none"> TOEIC L&R の Listening において、短い英文を聞き取り、適切な返答をすることができる。 長めの会話文やアナウンス文の大きな内容を聞き取り、適切な返答をすることができる。 TOEIC L&R の Reading において、文法・語彙を理解し、適切な語句を選ぶことができる。 長めの文書の中の具体的な情報を推測し、質問に答えることができる。 科学系の小論文でよく使われる英語構文や語彙を理解し、内容を把握することができる。 4年制大学の編入学試験の過去問に解答することができる。

ルーブリック

学習成果	評価尺度4	評価尺度3	評価尺度2	評価尺度1	評価尺度0
	期待している以上	十分に満足できる	満足できる	ほぼ満足できる	努力を要する
1. TOEIC の Listening において、短い英文を聞き取り、適切な返答ができる。	英文の内容をほぼ正確に聞き取り、質問の意図を理解し、9割以上正解できる。	英文の内容を半分以上正確に聞き取り、質問に対して7割程度正解できる。	英文の内容を半分程度正確に聞き取り、質問に対して5割程度正解できる。	英文の内容を一部聞き取り、質問に対して3割程度正解できる。	英文の内容をほとんど聞き取ることができず、質問に対してもほとんど返答できない。
2. 長めの会話文やアナウンス文の大きな内容を聞き取り、適切な返答ができる。	会話文やアナウンス文の内容をほぼ正確に聞き取り、質問の意図を理解し、9割以上正解できる。	会話文やアナウンス文の内容を半分以上正確に聞き取り、質問に対して7割程度正解できる。	会話文やアナウンス文の内容を半分程度正確に聞き取り、質問に対して5割程度正解できる。	会話文やアナウンス文の内容を一部聞き取り、質問に対して3割程度正解できる。	会話文やアナウンス文の内容をほとんど聞き取ることができず、質問に対してもほとんど返答できない。
3. TOEIC の Reading において、文法・語彙を理解し、適切な語句を選択できる。	文法や語彙を理解し、空所に適切な語句を入れることができ、9割以上正解できる。	文法や語彙をほぼ理解し、空所に適切な語句を入れることができ、7割以上正解できる。	文法や語彙を半分程度は理解し、空所に適切な語句を入れることができ、5割以上正解できる。	文法や語彙を少しは理解し、空所に適切な語句を入れることができ、3割程度正解できる。	文法や語彙を理解できず、空所に適切な語句を入れることができない。
4. 長めの文書の中の具体的な情報を推測し、質問に答えることができる。	長めの文書を時間内に全て速読し、7割以上正解できる。	長めの文書を時間内に半分以上読み、5割以上正解できる。	長めの文書を時間内に半分程度読み、3割以上正解できる。	長めの文書を時間内に少しでも読みこなし、3割程度正解できる。	長めの文書を時間内にほとんど読むことができない。
5. 科学系の小論文でよく使われる構文や語彙が分かり、内容を把握することができる。	使われている構文・語彙が分かり、内容を把握することができる。また、設問に9割以上正解できる。	使われている構文・語彙がほぼ分かり、内容を把握することができる。また、設問に7割以上正解できる。	使われている構文・語彙が分かり、内容を把握することができる。また、設問に5割以上正解できる。	使われている構文・語彙が少しは分かり、内容を把握することができる。また、設問に3割以上正解できる。	使われている構文・語彙が全く分からず、内容を把握することができない。また、設問にもほとんど解答することができない。
6. 4年制大学編入試験の過去問に解答することができる。	文法・語法問題だけでなく、長文読解問題でも9割以上正解できる。	文法・語法問題は7割程度正解し、長文読解問題でも半分程度は正解できる。	文法・語法問題は半分程度正解し、長文読解問題でも3割程度は正解できる。	長文読解問題は解答できないが、文法・語法問題は半分程度正解できる。	文法・語法問題も、長文読解問題もほとんど解答することができない。

シラバス基本情報

0	ナンバリングコード	MEIP-GEN105
1	科目名 英語科目名	保健体育 I Sports Activities and Health I
2	必修/選択 単位 開講時期 担当者	(選択1単位) 1年前期 澤田 浩*
3	授業テーマ・内容	(体育実技) 体力・健康づくりのための運動を幅広く経験し、社会生活におけるリーダーとしての資質を養い、心身ともに健康な生活を営むための習慣と態度を習得する。 (保健) 社会生活を営む上での基本的な条件である健康の認識を高め、一般社会人としての保健・体育に関する深い理解と高い見識を養うことを目的とする。又、安全な社会生活について、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動ができるような知識を習得する。
4	学習成果	(体育実技) 社会生活に於いて体育・スポーツの必要性を理解し、実践できる体力を養い、各種目の基礎を習得することができる。 (保健) 安全な社会づくりには、環境の整備とそれに応じた個人の取り組みが必要であることが分かり、正しい救急法の知識を身に付けることができる。

ルーブリック

学習成果	評価尺度4	評価尺度3	評価尺度2	評価尺度1	評価尺度0
	期待している以上	十分に満足できる	満足できる	ほぼ満足できる	努力を要する
体育実技 バドミントン	バドミントンのサービスやスマッシュなどより高い技能を発揮し、相手を動かしながら空いた場所を巡る攻防をし、スマッシュやドロップショットで得点を行うことができる。また、技能が身につかない仲間を支えることができる。	バドミントンのサービスやスマッシュなどの技能を身につけ、相手を動かしながら空いた場所を巡る攻防をし、スマッシュやドロップショットで得点を行うことができる。	バドミントンのサービスやスマッシュなどの技能を身につけ、相手を動かしながら空いた場所を巡る攻防をすることができる。	バドミントンのサービスやスマッシュなどの技能を身につけ、相手を動かそうとしながら空いた場所を巡る攻防をすることができる。	バドミントンのサービスやスマッシュなどの技能が身につかない。また、シャトルを返球することができない。
体育実技 バスケットボール	仲間と協力して、バスケットボールのシュート、パス、ドリブルなどのより高い技能を発揮し、リングにむけて守備者をかわしてシュートできたり、スペースを作り出す動きができたり、シュートできる位置にいる味方に対してパスを出すことができる。	仲間と協力して、バスケットボールのシュート、パス、ドリブルなどの技能を身につけ、リングにむけて守備者をかわしてシュートできたり、スペースを作り出す動きができたり、シュートできる位置にいる味方に対してパスを出すことができる。	仲間と協力して、バスケットボールのシュート、パス、ドリブルなどの技能を身につけ、リングにむけて守備者をかわしてシュートでき、シュートできる位置にいる味方に対してパスを出すことができる。	仲間と協力して、バスケットボールのシュート、パス、ドリブルなどの技能を身につけ、リングにむけてシュートでき、シュートできる位置にいる味方に対してパスを出すことができる。	バスケットボールのシュート、パス、ドリブルなどの技能が身につかない。また、ノーマークでもシュートできず、ボールとリングの間に立って守備をすることができない。
保健	安全な社会づくりについて、学習したことを基に、自分たちの生活や行動と関連付けたり、理由をつけたりしながら、現代の社会情勢にあった具体的な課題や対策について説明できる。	安全な社会づくりについて、学習したことを基に、自分たちの生活や行動と関連付けたり、理由をつけたりしながら、具体的な課題や対策について説明できる。	安全な社会づくりについて、学習したことを基に、理由をつけて、具体的な課題や対策について説明できる。	安全な社会づくりについて、学習したことを基に、具体的な課題や対策について説明できる。	安全な社会づくりについて、具体的な課題や対策について説明できない。

シラバス基本情報

0	ナンバリングコード	MEIP-GEN205
1	科目名 英語科目名	保健体育Ⅱ Sports Activities and Health Ⅱ
2	必修/選択 単位 開講時期 担当者	(選択1単位) 1年後期 澤田 浩*、河上俊和*
3	授業テーマ・内容	(体育実技) 体力・健康づくりのための運動を幅広く経験し、社会生活におけるリーダーとしての資質を養い心身ともに健康な生活を営むための習慣と態度を習得する。 (体育理論) スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、その解決を目指した活動ができるような知識を習得する。また、生涯スポーツについての知識も習得する。
4	学習成果	(体育実技) 社会生活に於いて体育・スポーツの必要性を理解し、実践できる体力を養い、各種目の基礎を習得することができる。 (体育理論) スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展や課題について正しい知識を習得し、生涯スポーツのあり方、及びとらえ方を学習し、自分のスポーツライフを設計できる。

ルーブリック

学習成果	評価尺度4	評価尺度3	評価尺度2	評価尺度1	評価尺度0
	期待している以上	十分に満足できる	満足できる	ほぼ満足できる	努力を要する
体育実技 サッカー	仲間と協力して、サッカーのパス、ドリブル、トラップなどのより高い技能を発揮し、ゴール方向に守備者がいない位置でシュートできたり、スペースを見つけて走りこんだり、味方を生かすパスを出すことができる。	仲間と協力してサッカーのパス、ドリブル、トラップなどの技能を身につけ、ゴール方向に守備者がいない位置でシュートできたり、スペースを見つけて走りこんだり、味方を生かすパスを出すことができる。	仲間と協力して、サッカーのパス、ドリブル、トラップなどの技能を身につけ、ゴール方向に守備者がいない位置でシュートできたり、スペースを見つけて走りこんだり、味方を生かすパスを出そうとすることができる。	仲間と協力して、サッカーのパス、ドリブル、トラップなどの技能を身につけ、ゴール方向に守備者がいない位置ではシュートし、味方にパスを出すことができる。	サッカーのパス、ドリブル、トラップなどの技能が身につかない。また、ボールとゴールの間に立って守備をすることができない。
体育実技 バレーボール	バレーボールのスパイク、サービス、レシーブ、トスなどのより高い技能を発揮し、仲間と協力し、仲間の持っている能力を生かしながら、チームとして三段攻撃につながる指示を出すことができる。	バレーボールのスパイク、サービス、レシーブ、トスなどの技能を身につけ、仲間と協力し、自分が持っている力を十分に発揮して三段攻撃につながる役割を果たすことができる。	バレーボールのスパイク、サービス、レシーブ、トスなどの技能を身につけ、仲間と協力し、自分が持っている力を十分に発揮して三段攻撃につながる役割を果たそうとすることができる。	バレーボールのスパイク、サービス、レシーブ、トスなどの技能を身につけ、仲間と協力し、自分が持っている力を発揮して三段攻撃につながる役割を果たそうとすることができる。	バレーボールのスパイク、サービス、レシーブ、トスなどの技能が身につかない。また、仲間と協力し、自分が持っている力を発揮して三段攻撃につながる役割を果たそうとしない。
体育理論	スポーツについて、学習したことを基に自分の経験や現代の社会情勢と結び付けて理解することができ、自分自身のより良いスポーツライフを具体的に設計することができる。	スポーツについて、学習したことを基に自分の経験と結び付けて理解することができ、自分自身のより良いスポーツライフを設計することができる。	スポーツについて、学習したことを基に理解することができ、自分自身のより良いスポーツライフを設計することができる。	スポーツについて学習したことを基に、自分自身のより良いスポーツライフを設計することができる。	スポーツについて学習したことを基に、自分自身のより良いスポーツライフを設計することができない。

シラバス基本情報

0	ナンバリングコード	
1	科目名 英語科目名	データサイエンス入門 Introduction to Data Science
2	必修/選択 単位 開講時期 担当者	(選択1単位) 1年前期 小池 稔
3	授業テーマ・内容	情報通信技術(ICT)が高度に発展した今日、我々は様々なデータに取り囲まれて日常生活を送っている。現代社会では「データ」の価値が重みを増している。「データサイエンス」はデータを扱う科学である。本科目では、データサイエンスの概要と基本的な考え方について概説する。 データ解析が「知る」「読む」「分類する」「予測する」の4段階からなることを把握し、データの倫理を修得して、正しくデータを取り扱える様になることを目指す。
4	学習成果	1. データ解析が4つの工程から構成されていることを説明できる。 2. データの作成過程が5つの段階から構成されていることを説明できる。 3. 情報倫理の4つの原則とデータの倫理の規範例について説明できる。

ルーブリック

学習成果	評価尺度4	評価尺度3	評価尺度2	評価尺度1	評価尺度0
	期待している以上	十分に満足できる	満足できる	ほぼ満足できる	努力を要する
1. データ解析が4つの工程から構成されていることを説明できる。	評価尺度3に加えて、1つ以上の工程について数式を使って説明ができる。	評価尺度1に加えて、全ての工程について大まかに説明ができる。	評価尺度1に加えて、2つの工程について大まかに説明ができる。	データ解析の4つの工程の名称を把握している。	データ解析の4つの工程の名称を把握できていない。
2. データの作成過程が5つの段階から構成されていることを説明できる。	評価尺度3に加えて、Webから取得した集計データの問題点について説明ができる。	評価尺度1に加えて、全ての段階について大まかに説明ができる。	評価尺度1に加えて、2つの段階について大まかに説明ができる。	データの作成過程の5つの段階の名称を把握している。	データの作成過程の5つの段階の名称を把握できていない。
3. 情報倫理の4つの原則とデータの倫理の規範例について説明できる。	評価尺度3に加えて、分析の倫理について説明ができる。	評価尺度1に加えて、全ての原則について大まかに説明ができる。	評価尺度1に加えて、2つの原則について大まかに説明ができる。	情報倫理の4つの原則の名称を把握している。	情報倫理の4つの原則の名称を把握できていない。